

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》 朝日まどか 浅野葉子

【概要】

日常生活活動、生活関連活動の工程分析や動作分析を通じて活動の特性や人間の諸機能との関連を学ぶ。さらに、これらの基礎的知識と疾病との関連から作業療法の支援方法とその技術を習得する。また、環境への支援方法として、住環境整備や福祉機器について学ぶ。

【学習目標】

<一般目標>

1. 日常生活活動、生活関連活動の評価と治療の実施のために、身体機能障害の例をもとに実施することができる。
2. 起居動作、移乗、移動、コミュニケーションを支援する福祉機器を安全に操作することができる。
3. 住環境を適切に評価し、各疾患に応じた住環境整備ができる。

<行動目標>

1. 各疾患の摂食嚥下の部分練習・全体練習を実施し、それらを列挙することができる。
2. 各疾患の整容動作の部分練習・全体練習を実施し、それらを列挙することができる。
3. 各疾患の更衣動作の部分練習・全体練習を実施し、それらを列挙することができる。
4. 各疾患の排泄動作の部分練習・全体練習を実施し、それらを列挙することができる。
5. 各疾患の入浴動作の部分練習・全体練習を実施し、それらを列挙することができる。
6. 生活関連活動についてAMPSを用いて評価し、それらを列挙することができる。
7. 起居動作、移乗、移動、コミュニケーションの福祉機器を安全に操作するために必要な事項が列挙できる。
8. 住環境を適切に評価し、各疾患に応じた住環境整備を列記することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	日常生活活動、生活関連活動の評価、支援の振り返り	朝日まどか
2	日常生活活動の評価	日常生活活動の評価と支援に関する演習（脳卒中）	朝日まどか 浅野葉子
3	日常生活活動の評価のまとめ（課題提出）	日常生活活動の評価と支援に関する演習（脳卒中）の課題についてまとめたレポートを提出	朝日まどか 浅野葉子
4	生活関連動作の評価	家事（AMPS）の評価と支援に関する演習	浅野葉子 朝日まどか
5	環境評価と支援方法（1）	住環境の評価と支援に関する演習	浅野葉子 朝日まどか
6	環境評価と支援方法（2）	福祉機器：環境制御装置、意思伝達装置に関する演習	朝日まどか 浅野葉子
7	環境評価と支援方法（3）	福祉機器：移動用リフトに関する演習 特殊寝台、特殊寝台付属品、スライディングボード、スライディングシート・グローブ等	朝日まどか 浅野葉子
8	日常生活活動の評価（3）	日常生活活動の評価と支援に関する演習（リウマチ、股関節疾患）	朝日まどか 浅野葉子

【評価方法】

レポート100%

【備考】

教科書：野村歡 著「OT・PTのための住環境整備論 第2版」 三輪書店 2012年

参考書：濱口豊太 編 「日常生活活動・社会生活行為学」 医学書院 2014年
伊藤利之 編 「新版日常生活活動（ADL）第2版 - 評価と支援の実際 -」 医歯薬出版 2020年

【学習の準備】

各演習項目について予習をしてから実習に臨むこと。
事前学習と指導後の探索・学習に各々80分を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP4）リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

朝日まどか（作業療法士）、浅野葉子（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や介護老人保健施設、訪問リハビリテーションでの実務経験を活かし、身体障害領域における日常生活活動や生活関連活動の評価方法、また住環境整備や福祉機器等の環境への支援方法も含めた作業療法の支援方法を習得できるよう演習を行う。